



あなたのカルマ鑑定書
～前世の課題を今生で昇華するには？
より幸せな人生にシフトする方法～

Ms. S□□□.M□□□

Sさん、こんにちは。

この度はご依頼いただきましてありがとうございます。

知っている方をリーディングするのは、やっぱり少し難しいなと思いました ^^

それにSさんのほうが圧倒的に感性豊かですし・・・

リーディングしながらみえてきたことをできるだけ書かせていただきます。

ちょっと話が抽象的でわかりにくいかもしれません。

そのときは何でもご質問いただければと思います。

それに永久質問OKですから ^^

リーディングをさせていただいて思ったことは、

Sさんが古い魂の持ち主であるということです。

これはご自身でそう感じていらっしゃると思いますが、

もう一つ、ちょっと今までに経験のないレアな魂の形をしていました。

他の方々の魂の形（あくまでも私が感じる形というのは）

まんまるくてそれぞれに綺麗な色をもっていて、

その方々の個性に応じてやさしい光や激しい輝きを感じるのです。

でもSさんの場合、まんまるい魂は同じですが、

その中にくるみのように固い、色も少し暗めの小さな魂が3つみえました。

1つはかなり開いていて、そこから輝きだそうとしています。

もう一つは、卵にひびがはいってて、ちょっとだけ穴があいている、

一つ目の魂に続いて開くぞという感じです。

で、もう一つはまだ固く眠っている状態です。

この眠っているのは、まだ時期がきていない、

ここはまだ触れてはいけない感覚をもったので、そのままそっとおきます。

ということで、だいが開いている魂と開きかけている魂についてフォーカスしてみます。

大きな魂というかその小さな魂を包んでいる魂は女性性の強い魂です。

丁度、Sさんが描く女性のような雰囲気をもっています。

Sさんのは本当に色々な側面があるので、なかなか手ごわいです ^^

ではだいが開きかけた魂が何かを呼びかけているので聴いてみますね。

今からの画像はあくまでもわかりやすくするために、物質的な要素を強くしています。

という言葉はSさんのハイヤーセルフからいただきました。

なので、これは過去世の映像ではなく、

分かりやすく伝えるために敢えてその画像を選んでいるそうです。

中世のヨーロッパのです。

Sさんらしき40代の女性と

10歳～12歳ぐらいの男の子がみえます。

この男の子がダーリンさんですね。

この二人の関係を一言でいうなら、「ヘレンケラーとサリバン」

ヘレンケラーがダーリンさんでサリバンがSさんです。

Sさんであるその女性は、そばにいながら彼が心を開くのをじっと待っています。

もう何年も何年もそうしているようです。

でもそこには苦勞という気持ちはなく、希望があります。

もちろん最初から希望だらけだったわけではありません。

二人の間に流れる長い時間がそういう気持ちを育ててきたようです。

彼は絵を描いています。

真っ黒い落ち葉、汚れたガラス、死んでいく鳥・・・

でもやがて、明るい色を取り戻した絵を描いていきます。

何年も何年も彼女はその男の子の自由と尊厳を守り愛情を注ぎ続けていました。

時間が少し流れました。

男の子は17, 8歳ぐらいの青年になっています。

何か荷造りをしています。家を出ているような感じなのです。

Sさんはニコニコしながらソファに座り、彼をみえています。

表情のない男の子だった過去が信じられないほど

勇敢で愛情深く、素晴らしい青年になっています。

寂しくはないのだろうか？と彼女の気持ちに聴いてみたところ

「寂しくないわけではないじゃない？」と穏やかに答えが返ってきました。

縫い物が完成したのでしょうか。

防寒着のようなマントをその女性は彼に渡しています。

どちらかという、彼のほうが出ていくことに躊躇しています。

ひどい寂しさを覚えているようです。

もう守られてはいないのだ、一人で一步一步生きていなくちゃならないのだと、

自分に言い聞かせながら、荷造りをしているようです。

彼女はドアを開け、彼が出て行くのを待っています。

でも彼はなかなか出ることができません。

彼女はニコニコしながら、ただ彼が動くことを待っています。

1時間はそういう状況だったのでしょうか。

意を決したように、彼女に強くハグをして後ろを振り返らずに出て行きました。

もう一つ過去世がでてきました。

これは最初に小さな魂があることをお話したもう一つの魂の声のようです。

今度はSさんは40代の女性です。ダーリンさんは20代女性。

ダーリンさんはSさんのことを「先生」と呼んでいます。

何かを教えているようです。

映像をみるかぎり、魔法みたいなものです。

ビンに花びらと何か液体のようなものを入れて、それにエネルギーをこめています。

彼女は自分の生徒さんが卒業というとき、

自分の力の一部をエネルギーにして与えていました。

いままでも何人かの生徒さんにエネルギーを渡すことで

その魔法学校の卒業という形をとってきたのですが、

そのエネルギーは有限で、（本当の本当は無限なんですけど・・・）

彼女が最後の生徒さんになるようです。

つまり、ダーリンさんであるその生徒さんにエネルギーを渡したら

彼女の人生の仕事は終わるに等しいのです。

彼女にとってその生徒さんは、一番感慨深い生徒さん。

なぜなら絶対にこの仕事は無理だと思うほど、

精神的にも未熟だったからです。

ここまで才能があるなんて思っていなかったから。

確かに他の方々よりも手はかかり、大変だったけど、

彼女の資質は今からもっと輝きだしていき、才能あふれる女性のようにです。

最後の日、彼女には自分の全エネルギーをこめて渡そうと思っています。

Sさんの過去世の女性は、この子と出会うために私はいままで生かされていたのだと

そんな気持ちをもっています。

Sさんの過去世の女性がいままでエネルギーを伝授した9人の生徒さんが

それぞれ自分の居場所で活躍し、この地球に愛を注いでいます。

彼女（ダーリンさん）で完成する、そんな思いでいるようです。

彼女（ダーリンさん）もこの女性（Sさん）をお母さんのように慕っています。

彼女（ダーリンさん）は彼女（Sさん）のもとを離れたいがなかったのですが

それはできないことを知っています。

最終日、女性（Sさん）は彼女（ダーリンさん）にエネルギーを渡しました。

女性（Sさん）の身体が一回りくらい小さくなり

髪や肌のつやが失われていくようです。

でもその内面の美しさは変化せず、逆に神神しさを増しました。

それをみていた女性（ダーリンさん）は何かを悟ったように、

旅立つことを固く決心します。

数年後、先生であった女性（Sさん）は若々しさは失われましたが

とても美しい白髪的女性になっています。

彼女はお茶を飲んでいるのですが、

その向かいにはやさしい同年代の男性がいます。

一緒にくつろいでいるようです。

安心感・安堵感・幸せ・温かさ……

彼との間にながれる空気をあらわすとこんな感じです。

女性（ダーリンさん）が旅立ったあと、一人になったSさんの過去世の女性は

孤独を感じながらも自分の人生を愛おしいんでいました。

そんなある日、全く見知らぬ彼があらわれ、

やさしい表情と声で「待たせたね」というと、

その日から同居生活がはじまったようです。

彼の「待たせたね」に返答したSさんの過去世の女性の言葉は

「丁度よいころあいだったわよ」というものでした。（初対面です）

何年かの時は流れ、

女性（Sさん）は彼のひざに頭をのせ泣いています。

膝枕をしてもっている状態です。

その涙は孤独も愛おしさも美しさも醜さも

すべてを包括した綺麗な涙のようなです。

「感無量」というのが彼女の気持ちを精一杯に表す言葉です。

そうして彼女は次の人生というか、ステージに行くために

静かに目を閉じたようです。

過去世のリーディングはここまでです。

つぎに占星術の面からお二人の関係を紐解いて見ましょう。

まずはちょっとだけSさんご自身について、お話させていただきます。

私が何か言うのはとてもおこがましいような気がしますが

おもしろいように11室と12室に星が集まっています。

やはり心、精神世界についての探求はかかせないようです。

とくに太陽が12室の丁度真ん中あたりにあり、

それがMCと90度のアスペクトをとっているのは、

心の造詣の深さと才能を人生の厳しさから輝かせ

外に表現していくということになっているようです。

ですので、今のSさんの動きというのは正しいのでしょう。

そして、4室にある木星もSさんの人生には深い影響があるようです。

「人類みな家族」これがあてはまるかもしれません。

世界を家族とみなすエネルギーをもっています。

そしてそれが才能が開花してくれるのを助けてくれるでしょう。

実はビジネスセンスがあるってことも表しているんですよ。

だから、すごくスピリチュアルには傾いていないんだと思います。

ただこの木星、6室の海王星と12室の海王星とTスクエアになっているので、

かなり難易度が高くなっています。

でもきっかけさえつかめば、大きな財を仕事でつくっていける相でもあります。

6室の海王星は、調和と幸福がSさんの仕事の基盤になります、

ということを行っています。

今まさに花開こうとしているのかなとそんな感じを受けました。

そして1 2室の火星は、宇宙の摂理を理解したいという

強い願望をあらわしています。

それが労働の部屋である6室と家庭という自分の場所にあたる4室と

結びついているのは、Sさんの表現そのものが

自分の経済、家族、Sさん自身を調和のもとに廻していくのだということを

表しているようです。

ではダーリンさんとの関係についてみてみましょうか。

これを書くのがすごく迷ったのですが……

私の予想は、Sさんの星とダーリンさんの星が複雑に絡まりすぎて

そしていろいろなことがあるのかなと、遠距離も含めて、です。

でもお二人の関係性を表すなら「すごくおしいすれ違いのある関係」

そんな感じなのです。

例えていうなら、渋谷のハチ公の右方向と左方向でお互い待ってて

相手が来なくて、がっかりして帰ったぐらいのおしいすれ違いがあるんです。

現実世界では、Sさんがダーリンさんを求めているような感じですが

星の動きは、ダーリンさんがSさんを追いかけているそんな状態です。

過去世のところでもその関係なのですが

Sさんは気がつきましたか？

「本来の正しい」という言い方は正しくはありませんが、

本来の立ち位置は今の逆のような立場でしょう。

ダーリンさんの星がSさんの星と関わりたいと積極的に動いている

そんな星のかかわりなのです。

ですので、直接的に関わることがほとんどできない、

お二人の関係をあらわします。

これを書いていてふと思ったのが、遠距離であることの意味というか

そういうことなのかなと思いました。

彼の大きな特徴は第4室の太陽、ACSと120度の

トラインをとっています。

これは人に受け入れてもらうことをとても重視していて

それが人生の中で実現できているということをあらわしています。

第8室の火星とグラントラインになっているので、

彼の欲求のベースは満たされていて、もっともっと違う質の絆を求めているようです。

彼もまた何か新しい価値観を育てれる絆を求めている、

そんなイメージをもっていたらと思います。

それは8室の月が11室の冥王星と4室の金星とのTスクエアに現れているようです。

その新しい絆（価値観）をSさんを求めることによって体現させようとしている、

彼は彼で何か人生で強くもとめている、

それをSさんをおしてみようとしている、

そんな彼の価値観がみえてきましたのですが、どうでしょうか……。

以上がリーディングの内容になります。

.....ま と め

■ あなたと彼の過去世は

Sさんは中世ヨーロッパで、孤児を育てる人だったようです。

(今の言葉でいい表すとですが)

もう一つの過去世では、魔法使い（魔女）的なことで世界に愛を与える人でした。

ダーリンさんは、そのSさんの持っているものを受け取る立場だったようです。

■ あなたと彼の過去世を通してみえてくる関係は

Sさんが伝える人、教える人、育てる人。

彼が育てられる人、そしていつか旅立つ人。

■ あなたの選ぶべき生き方は

私がいうのは本当におこがましいのですが、この世界全体に対して

語りかけをしていく立場になるような生き方になると思います。

それは絵をこれからどうしていこうとしているかにかかっているような感じです。

■ 私からのコメント

Sさんは答えをご自身でみつけられるので、わたしは何も申し上げることはありませんが

Sさんと彼の関係は恋人というよりも、何かを学んでいる関係で、

彼がそれを受け取ったら旅立つというパターンをもっています。

これは、今生でもそういう関係にするのかもしれないし、

いままでそういうパターンをくりかえしてきたから、

そういうパターンじゃない方向に行こうとしているのかもしれませんが

そこは私にはわかりませんでした。

たぶん、3 個目の小さな魂に答えがあるようですが

まだ眠っているので……。

ただし、いつまでも眠ってはいないようです。

固く閉じていますが、温かさがありますから。

2016 年 1 月 22 日

Profile

中村まみ

北陸の富山県で古典西洋占星術による天職適職と過去世（前世）から

あなたへのメッセージをお伝えする占い師として活動しています。

プロのセラピストとしての技術と合わせて、自分自身を愛して満ち足りた

人生を歩むお手伝いをさせていただいております。

ブログも更新しておりますので、ご覧いただければ、嬉しく思います。

<http://acimlessons.blog.fc2.com/>